

令和6年5月8日

プレイスメイキング等の実証実験提案書

活動名	神田駅西口地区まちなかウォーカブルプロジェクト 道の縁側づくり×広場の繋がりづくり
提案者	神田駅西口商店街振興組合
提案者の所在地	千代田区内神田二丁目、三丁目

【概要】 下記、2種類のイベントを実施する。

①道の縁側づくりイベント（週1回2～3時間程度を複数回実施）

②広場の繋がりづくりイベント（①の最終回として1回実施）

➤ 開催時期：①9月上旬～10月中旬

②10月下旬

➤ 活動場所：内神田中央通り、神田セントラルホテル跡地広場 等

➤ 目的

I. 多様な地域コミュニティ育成

新旧住民、在勤、在学などの交流の場づくりによる安心安全なコミュニティ育成

II. 神田らしい風景と文化の継承

江戸時代から続く道文化の継承と地域資源のアップサイクル

III. 協働による新たな価値の創造

商店街・町会・企業・専門学校・NP0・市民活動団体の協働による新たなつながり
や新たなウォーカブルモデルをつくる！

→イベント×日常の交流の場づくりを行い、継続的な地域活動の発展に貢献します

①道の縁側づくり（週1回×約8回（各回2～3時間））

●道路（道路占用&使用許可あり）や通り道となっている公開空地で、週1回（平日夕方・土曜日昼間など）酒樽をつかった地域の多様な交流の場づくりを行う。小さな規模からスタートする。日常的な視点からのコミュニティ育成の効果検証と道の可能性や日常的な道の活用方法を探る。

例：酒樽を囲んで気楽なお茶会、酒樽で昔遊び（コマやメンコ）、
酒樽でボードゲーム、ただのおしゃべりや休憩など

●道で交流する中で、道活用や商店街の廃材を使ったアップ
サイクルのアイデアをもらい、地域イベントで随時、実施
していく＝日常とイベントをつなげる！！

例：酒樽による植木、瓶によるランタン、端切れによる旗づ
くり、神田祭で出た竹で玩具や食器、家具や雑貨づくりなど



②広場の繋がりづくり（1回開催）

●神田駅西口エリアの道路や公開空地、広場などを人々が回遊し、お店にも足を運んでもらう回遊型のイベントを開催する。週1回の道の縁側でもらった酒樽アイディアの実現や廃材をアップサイクルした展示などのイベントに加え、ガラポン（抽選）イベントを実施する。ガラポンでは、対象店舗で使えるオリジナルチケットがもらえ、まちなか店舗を楽しむことができる。

上記施策には「子供向け」「大人向け」それぞれの案を組み込み、イベントの中で多世代が楽しめる設計をめざす。



大人向けエリア（リラックスゾーンや飲食ゾーンを想定）



子供向けエリア（あそび場となるグッズ配置を想定）

【主なスケジュール】

- 6月下旬 関係者間での検討開始（商店街・町会・企業・教育機関・NP0等）
- 7～8月 道路占用・使用許可、地域調整、
- 9月上旬 道の縁側チラシ配布、週1回の道の縁側づくり《8～9回程度》
周辺飲食店等への協力依頼
- 10月上旬 最終イベント（広場の繋がりづくり）チラシ配布、関係者調整
- 10月下旬 最終イベント（広場の繋がりづくり）の実施《1回》
- 11月中旬 イベント結果や意見に基づいた今後のウォークブル施策の検討

【活動理由】

地域課題に対する意識と解決へ向けたアプローチ

本プロジェクトでは、人と人とのつながりが生まれる場として、道を中心に日常的な交流の場をつくり、神田の地域課題である新旧住民の交流や子育ての孤立化、町会や商店街の活動に参加するきっかけをつくります。

また、神田駅西口地区では多種多様な商業店舗が建ち並び、それぞれが独自の空間・居場所を生み出すことで、神田特有の雰囲気醸成している。また、それらの店舗を家族三代で利用するような姿も見られ、老若男女が安心して神田のまちを楽しむ光景が継承されてきた。しかし、近年は地域団体によって多くの防犯パトロール活動が行われているにも関わらず、悪質な客引き・ぼったくり店が後を絶たず、神田に住む・神田を往来する人々が安心してまちなか店舗を利用することの大きな妨げとなっている。そこで、参加型のイベントを開催することで、在住・在勤・在学者と「地域のお店」双方の『顔の見える関係性づくり』をし、地域コミュニティの発展と新たなつながりの創出に寄与することを課題解決へ向けたアプローチとしたい。

【実施体制】

- 主 体：神田駅西口商店街振興組合
- 協 力：神田駅西口地区まちづくり市街地再開発準備組合
移動式あそび場全国ネットワーク、NPOつむぎやさん
東京デザイナー・アカデミー（建築デザイン学科） 等
- その他：周辺店舗及び教育機関、市民活動団体等に協力を依頼。

【収支予定】

収入：120万円（千代田区助成金50万円（希望）、企業等からの協賛費70万円（目標））

支出：120万円（広場等の使用料金、広告費、備品・消耗品費、協力店舗等への謝礼金等）

【今後の展望】

本プロジェクトには次年度以降の継続可能性も大きくある。週1回の道の縁側は予算をかけずに実施していくことで、持続可能な日常の交流の場をつくっていく。

また、最終イベント（広場の繋がりづくり）では収入をどのように確保するかは懸念事項であるが、「商店街のイベント」「協力店舗の拡大」「周辺イベントとの連携」を行うことで発展的に開催することも可能であると考え。今回の活動実施の中でアンケートの実施し、継続開催についても検討を深めたい。

【活動のポイント】

- ・ 神田駅西口商店街では長年にわたり、地元町会や飲食店、企業、教育機関やNP0との関係性を構築してきた。それらの関係性を生かしエリア全体で実施する。
- ・ 日常的な交流の場づくり×地域の参加型イベントを組み合わせることで新たなつながりと新たな価値をつくっていく。
- ・ 広場の繋がりイベントでは、チケットを取得するためには対象店舗での消費行動が必要となるため（こどもは別）、地域内での経済循環にも貢献することができる。

新旧住民の交流や子育ての孤立化解消、地域資源の活用や在住・在勤・在学者のつながり、地域のウォーカブル・回遊性の向上、地域経済の循環など同時に図りつつ、対象エリアで問題視される客引き・悪質店舗問題の解決もめざすことができる一石十鳥以上の取り組みである。

【区からサポートしていただきたい事項】

- ① 後援名義、道路占用許可、道路使用許可の支援
- ② 広報支援（広報ちよだやHPへの掲載、町内看板の利用等）
- ③ 活動費用の支援（50万円）
- ④ イベント当日の参加
- ⑤ 神田地域におけるプレイスメイキング・エリアマネジメント活動の検討支援

※上記に加え、企画書などの補足資料を添付していただいても構いません。